

## 令和5年度 第1回米子市環境審議会開催結果

### 1 開催日時

令和6年1月24日（水）午前10時から午前11時30分まで

### 2 開催場所

米子市役所本庁舎5階 議会第1会議室

### 3 出席者（敬称略・順不同）

#### <委員>

尾崎米厚、天野宏紀、山口啓子、尾崎絵美、平木尚一郎、伊藤直子、田邊忠雄、田部美穂、岩永秀子、林篤、熊谷春美

（欠席：朴紫暎、藤井雄三、中西広則、武良賢治）

#### <事務局>

足立環境政策課長、高浦クリーン推進課長、野口環境政策課担当課長補佐、宮脇環境政策課担当課長補佐、高本環境計画担当係長、熊本環境計画担当係長、長井環境保全担当主任、大塚環境計画担当主任

### 4 会長及び副会長の選出について

会長に尾崎米厚委員、副会長に田邊忠雄委員を選出

### 5 議事事項

（1）第2次米子市環境基本計画の進捗状況について（報告事項）

#### 【配布資料】

資料1 米子市環境審議会名簿（令和5年12月21日現在）

資料2 第2次米子市環境基本計画の進捗状況（令和5年3月末現在）

参考資料 米子市の環境（令和5年度版）

### 6 公開・非公開

公開

### 7 傍聴者数

0名

### 8 議事の概要

#### [事務局] 説明

- ・議事（1）第2次米子市環境基本計画の進捗状況について

#### [A委員]

ハザードマップや避難ノートについて、作成、公開までは達成できていても、そのあとの活用のところに力を入れなければならないのではと感じています。特にこの度の震災のこともあり、洪水、津波などのハザードマップは注目されています。自分の住んでいる所、自分の職場、よく行く場所のハザードマップを把握することなどが大事です。自分の住んでいる地区では防災事業の後に配布するなどをしたが、読み捨てられないように、作ったものの活用というところを充実させていただきたいと思います。

**[事務局]**

ハザードマップ等、作成したものをどのように活用するかが大切というのはご指摘のとおりです。行き届いた周知ができるよう、担当課へ伝えたいと思います。

**[B委員]**

避難ノートについては、年度内に配りたいことは理解しますが、自治会内で内容や目的を説明してから住民に渡したかったです。ハザードマップの作り方につきましても、地震予知研究会が4.7m程の津波が来る可能性を示唆しており、海岸や河川付近のみではなく市街地の方にも影響が出るのではと思います。そういった整合性がとれて作成されているかが不安です。

**[C委員]**

全体を通して、資料を出した時点で啓発ができたと評価している項目が多いですが、その後の周知への取組が大事だと思います。

**[D委員]**

この度の震災があったこともあり、防災意識が高まっている今が啓発のチャンスだと思います。大きな津波なども可能性としてはあり、もっと市街地へのリスクも啓発していただければと思います。

**[E委員]**

地球環境の問題によって、災害がより甚大化する可能性もあるので、連携をとって周知を徹底していただければと思います。

**[事務局]**

承知いたしました。

**[F委員]**

CO2 排出量の目標について、達成は十分可能であるとの評価があります。今までは達成しやすいところであったと思いますが、達成が進んだこれからの数%が難しいと思います。これについての取組、施策がありますか。

また公共交通機関の利用促進について、ノーマイカーデー運動実績だけでは目標設定が低いと感じます。これ以外に考えている取組はありますか。

**[事務局]**

CO2 排出量の目標については、昨年度策定した地球温暖化対策実行計画（区域施策編）ではもう少し高い数値を設定しています。来年度に市民向けアンケート、再来年度に環境基本計画の中間見直しを予定しています。区域施策編や脱炭素施策を加味して、また目標値を設定させていただきたいと考えています。

**[F委員]**

では、そのときの議論で具体的な取組が提示されるということでしょうか。公共施設への太陽光パネル設置ですとか。

**[事務局]**

作成段階で予定のあるものは加味してということになります。太陽光パネル設置については、平成25、27年度に公共施設の屋根貸し事業を実施しています。再エネの導入推進の取組も進めていきたいと考えておりますので、また、ご意見をいただきたいと思います。

車をなるべく使わない生活できるようにという点については、米子市として「歩いて楽しいまちづくり」を掲げて施策や取組を進めているところです。複数部局が一緒になって、公共交通を活用しながら、市街地に来たら歩いて行けるようになどの施策を進めています。

[F委員]

施策等の努力していることは理解しますが、例えば市役所職員の公共交通機関の通勤使用率など収集しやすいデータなどを用いて経年的に数値化してみたいかでしょうか。

[E委員]

CO2 排出量の削減に対して、重点施策のノーマイカーデーだけで達成できるものではないです。排出量をどうやって計算して、どこの部分が減ったのかというのがないから疑問が出るのではないのでしょうか。市民が「何を頑張ったら減るのか」が見えてこないところがしっくりこないことかなと思います。そういうことが見えるような評価資料を今後検討していただければと思います。

[事務局]

承知いたしました。

[C委員]

市役所の駐車場を無料処理されることは、本当に車で行かないといけない人においては大事なことであると思います。ただ、そうでない場合、レベルによって駐車料金を変えるなどしてはどうか。無料にするということは、「ぜひ車で来てください」と車の利用を促進しているメッセージにもとれると思います。マインドの点を変えるには、金銭的なところが大事になるのではないのかなと思います。

[E委員]

住民行動をどうするのか、そのためにどういった方法がいいのか検討していただきたいと思います。

[B委員]

個人の意識も大事で、「近くは車で行かない」というマインドを持たないといけないと思います。そこが変わらないまま、無料処理をやめるということはまた別の問題になり得ると思います。自分たちで歩いたり、健康を維持する気持ちを植え付けないといけないのではと思います。

[F委員]

健康寿命が長い県は歩くことが多く、こういった点を含め、鳥取県の健康寿命の低さにもつながっているのかなと思います。

[E委員]

重点施策が公共交通機関の利用推進ということは、自動車が最大のCO2 排出量という認識でよかったですでしょうか。

[事務局]

重点施策につきましては、米子市の上位計画である「まちづくりビジョン」に掲げられているものを設定しておりますが、これだけでなく、省エネルギー化の推進ということで施策の検討は今後必要だと考えています。

[G委員]

除草路線が増えたとする管理不全な場所が増えてしまったという風に見えるので、市として頑張られたことだと思いますので、対象路線を増やしたなどという記載の方がよいのではと思います。

[事務局]

承知いたしました。

**[H委員]**

ごみの排出量の減について、コロナ禍の影響などで産業活動が停滞していたこともあると思いますが、そういった点は考慮されていますか。

また特定外来生物の啓発について、オオキンケイギク、セアカゴケグモなど県や市で対応を進めていますが、今後も指定が増えていくにあたってどのように対応されますか。

**[事務局]**

ごみの排出量については、実際にごみの量としては減少しており、あくまでこれを結果として評価しています。これがコロナ禍の影響なのかこれまでの啓発活動かはわかりませんが、今後については推移を注視しながら考えていきたいと思います。

また新たな特定外来生物については、県と連携しながら対応方法などを今後検討していきたいと思います。

**[B委員]**

ごみの量が減っていることは、不法投棄の発生件数が増えているといった可能性もあるのではないかとともに思います。そういった指標も含めていただきたいと思います。

**[事務局]**

どのような指標がより資料としてわかりやすく、啓発につながるかということは今後検討させていただきたいと思います。

**[I委員]**

米子水鳥公園の環境学習の実施数等について、こちらもコロナ禍の影響というのがありますか。

**[事務局]**

米子水鳥公園の環境学習の実施数等につきましては、コロナ禍において、少人数実施や午前午後に分けての分散開催を行っていたため、来館者数も減っているという影響はありました。

**[F委員]**

荒廃農地について、増えていくことでヌカカの問題なども出てくるかと思いますが、今後どのように対応していきますか。

**[事務局]**

農林課が所管ではありますが、荒廃農地を減らす取組として、農地に再生するための補助金等を出すといったことを進めていると聞いています。

**[A委員]**

YouTube について、投稿されている動画数も増えており、いい取組だと思います。ただ、テーマによって視聴数の少ないものなどもあり、何か他の媒体等で YouTube 自体も紹介していただければと思います。

**[事務局]**

これからも環境政策課に限らず、環境に関する様々なテーマで啓発をしていく上で、今後周知の方法などは検討していきたいと思います。

**[A委員]**

災害時に電源がなくて困ることも起こったりします。太陽光充電ができるモバイルバッテリーなど災害時に役立つものを紹介するなど、自分のために自分で備えられることを YouTube を活用して周知していただければと思います。

[F委員]

中海一斉清掃などせっかく美化活動を行うのであれば、ごみの量や種類などそういったものを調べると貴重なデータなどが得られるのではとも思います。

[E委員]

そういったモニタリングにも市民参加型のデータ収集などができるとおもしろいかもしれません。また今後の取り組みの参考にしていただきたいと思います。

[A委員]

先日リチウムイオン電池での火災のニュースがありました。リチウムイオン電池がどのようなものか、どういったものに使われているかというのを知らない人も多いと思いますので、周知啓発の手法を考えていただければと思います。

[事務局]

不燃物の中に混ざることが多いと聞いています。リサイクルプラザでは発火までは稀だが、1日に数回程度煙が出ることもあり、危機感を感じています。よなごみ通信などで周知していますが、今後更なる周知方法については検討していきたいと思っています。

[C委員]

進捗状況報告の全体をとおして、PDCA サイクルでの評価は課題や問題点を改善につなげることが大事であると思いますので、講評等を付け加えていただけるとより良いものになるのではと思います。

[事務局]

承知いたしました。

[会長]

それでは他に委員の皆様からご意見等何かございますでしょうか。無いようですので、進行を事務局にお返しします。

[事務局]

それでは議事につきましては以上となりますので、これもちまして閉会にしたいと思います。ありがとうございました。

(午前 11 時 30 分終了)